

令和2年5月29日

美術学部長 日比野 克彦  
美術学部教務委員長 海老 洋

美術学部・研究科 の学生のみなさんへ

5月25日付で東京都の緊急事態宣言が解除されましたが、大学としては新たな感染拡大の防止を第一に考え、実技授業を含めた前期の授業を原則としてオンライン授業とする方針が定まりました。ただ、実技授業等で指導上必須とされるものに関しては、3密（密閉、密集、密接）を避けることを前提に、学生が通学する形で行われる対面での授業（以下「面接授業」）が実施されることとなります。

しかし、実際には本人やご家族に疾患があり外出を控えたい学生や、居住地や、通学ルートによって感染の不安がある学生も存在することは大学としても理解しています。この度の新型コロナウイルス対応の1つとして、大学では面接授業が開始された後も「登校できない・登校に不安がある」等の相談に対応する準備をしています。

面接授業が必要とされる科目であっても、オンライン対応や、課題の提出等の在宅での対応を準備しています。また、登校、在宅いずれで受講した場合も評点、評価には差が生じる心配はありません。登校に不安があり、この措置が必要な学生は所属研究室に相談してください。尚、この対応は状況により後期も継続する予定があります。

大学としても通常の授業が実施できず教員一同忸怩たる思いでおります。一刻も早い通常授業を望んでおりますが、とにかく学生の安全を第一に考えておりますので、ご理解のほどお願いいたします。